重要なものだと思いますが、これからは、若い人たちにもどんどん天皇制について論議し、行動するようしてもらいたいと思っています。行動がなければ敵を打倒し、破壊することはできません。

特集 天皇制の解体とは

天皇制と教育

辻 文明

序

この七月に開幕した沖縄海洋博のために八名普総裁である皇太子、美智子妃が初めて沖縄を訪れた。南部戦跡地の「ひめゆりの塔」に着いた時、反対派の人達によって火炎ビンを投げつけられたのであった。

沖縄が第三次琉球処分によって米国から返還されて日本政府の支配下におかれるまで、沖縄に住む人々の多くは天皇に対して、来沖縄を叫び続けてきたという。

天皇のため、日本国のためと信じて死んでいった幾万の人々の戦跡、慰霊碑に参つてほしい、そして日本の復興とひきかえに基地の島にされた沖縄全土を見てほしい、と言うのである。

しかし、沖縄民衆の人々の真意はどうなのであろうか？ 今回皇太子訪沖は、戦後初めての注目すべき入幸✓？ であつたわけで、火炎ビンの歓迎ぐらいあつても不思議はないし当然でも

また、そうした行動を支援し、運動として拡大して行くことも必要です。私の話が、そうした運動を形成するうえで、いくらかでも若い人々の参考になれば幸いです。

ある。

ところで本題に入ると、この天皇という存在は最も難かしい「教育材料」である。人間は皆平等だと教えるそばから日本国憲法下、特別な存在である天皇を教えなくてはならないのである。

文部省は指導要領の遂行監督者である校長、教頭と、出版社に対する文部省の圧力、文部省こわさの自主規制で作られた教科書との間で教師は生徒に何を、どう教えたらいのだろうか。

ここでは授業空間のみでなく、日常の教育の場、全てに亘つて影を落とす天皇制について考えてみたい。

1 教科書に表われた「天皇」

教科書における、具体的な天皇制の浸透を意図した教育素材が多いのではないかという仮説をたてて教科書を検討してみると、その記述の案外少ないのとまどう人もいるかもしれない。

教科書の憲法についての説明のなかで、現在の天皇の地位を述べた文章は、小学校では六年の教科書、中学校では「公民」分野の教科書に表われている。

手元にある中学校の現行教科書を開くと、次のような記述にぶつかる。

——帝国書院版中学社会科公民——

大日本帝国憲法では、天皇は主権者であり、その地位は天皇の祖先である神から引き継がれ、永久に将来に受け継がれるべきものであるとされた。また、天皇は神の子孫として人間の姿をした神でもある（現人神）とされた。これに対して、日本国憲法では、天皇はもはや主権者ではなく、その地位は、「主権の存する国民の総意に基く」（第一条）。したがって、天皇制は永久不変のものではなくなつた。天皇の神としての性格も、一九四六（昭和二十）年一月一日の人間宣言の詔書によって否定された。（中略）日本国憲法における天皇は国の政治に関する権力を与えられていない。ただ憲法の定める一定の国事に関する行為が認められるだけである（四条、六条、七条）。この国事行為は、国会や内閣の決めたことを外に表示する形式的、儀礼的な行為であり、天皇はそれを内閣の助言と承認にもとづいて行う（三条）。

憲法はこのような天皇を、「日本国の象徴であり日本国民統合の象徴」であると定めている（一条）。これは、天皇が国の象徴としての役割以外の役割をもたないことをはっきりさせたものである。

——清水書院版日本の歴史と世界——

一九四五年、神道に対する国家の保護が廃止され、翌年一月天皇は神でないことを宣言した。

（帝国書院版の中学歴史教科書にはこの人間宣言に関する記述がない。）

——日本書籍版公民的分野——

日本国憲法では、「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。」（第一条）と定められている。天皇は国政上の機能を有しない。

天皇の役割には（略）などがある。天皇は、これらの行為を、内閣の責任においておこなう。これを天皇の国事行為という。これらの教科書の記述のうち、天皇の人間宣言がないという点で、日本書籍版公民的分野は他と大きな隔りを見せている。このことは、天皇の地位について大日本帝国憲法と日本国憲法との考え方の違いを述べることなく天皇の行為をただ羅列することにながる。

「天皇は日本国の象徴であり」という憲法の一文は、天皇も人間であつて、決して国民を統治する（しうる）特権をもつものではないという考え方からみれば、天皇は日本国の象徴に「すぎない」のであり、天皇は憲法に掲げられた国事行為「のみができる」という、制限をうけた存在を意味しているのである。

こうした、教科書に天皇の人間宣言を記述しなくなる傾向は、小学校用教科書において更に明白である。

小学校の社会科教科書からは、天皇の人間宣言に関する叙述がすべて姿を消し、かわつて神話伝説に関する記述が目立つてふえ

ている（参考・明治図書「社会科教科書の実践的批判」）が、これらは天皇の神格化の方向をはっきり示しているといつてよいだろう。

さて、このような最近の教科書の傾向の背景に文部省の指導要領の変遷があることは容易に想像がつくと思う。

指導要領の歴史を少し振り返ってみよう。

2 指導要領の変遷

学習指導要領が試案という形で戦後はじめて発行されたのは一九四七年三月のことであり、教育基本法もこのとき公布された。

この試案以後に、社会科編の学習指導要領試案が文部省から出されている（同年五月）が、これらは占領下の特殊事情のもとに作製されたものであるとして、一九五八年（昭和三十三年）三月に答申されたのが、道德教育の徹底をうたった小学校学習指導要領であった。

社会科第六学年の内容の(3)項には、「このような政治のしくみのおおもとのほか、国家の理想、天皇の地位、国民としてのたいせつな権利や義務などが、日本国憲法によつて定められている」とあり、一九五八年一〇月の中学校学習指導要領社会第二学年の項には「また、この大戦について反省し、特に戦争のもたらした人類の不幸についても考えさせることがたいせつである」とあり、第三学年の項目には、「日本国憲法は基本的人権の尊重、平和主義、国民主権、三権分立、代議制、議院内閣制などの基本的な原則に基いていることを認識させ、あわせて、天皇の地位について理解させる」となっている。

これらが、中学校指導要領は一九六九年五月に改訂され、小学校指導要領は一九七一年四月から改訂施行された。

小学校の学習指導要領の場合、「社会および国家に対する愛情を育てるとともに」といった文章の中で見逃せないのは、新しくあらわれた、国家愛という概念である。

第六学年の内容の(1)には、「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国の政治のしくみ、国民としてのたいせつな権利、義務などを理解すること」とあり、この内容の取り扱いについて、

「（略）天皇については、日本国憲法に定める天皇の国事に関する行為など児童に理解しやすい具体的な事項を取り上げて指導し、歴史に関する学習との関連も図りながら、天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにすることが必要である（略）」、そして別項に「なお、このような学習を通して、わが国の国旗に対する関心や、これを尊重する態度を深めさせるとともに、諸外国の国旗に対しても同じようにこれを尊重することが必要なことを考えさせるように配慮することが必要である」とある。

これらの中で看過できないのは、権利に「国民としての」という言葉が冠せられていることだ。ここに基本的人権などの無条件に与えられるはずの人間固有の権利認識は欠けている。国家としての国民であり、その国民であることから生じる権利と義務の認識を持たせようという訳である。国旗に対する尊重及び天皇に対する敬愛の念の強調に、教室にもちこまれる天皇制教育の恐ろしさを思わないわけにはいかない。

さらに、中学校の学習指導要領は、地理的分野、歴史的分野、公民的分野と分けられ、公民的分野の国民生活と政治の項目にお

いては「(日本国憲法を学ぶにあたって)また、日本国および日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。なお、日本国憲法が国の最高法規であることの認識を深める」と、天皇の地位についてひじょうに重視している。

今の生徒たちは敗戦直後の教科書から「天皇の文字がスミで黒くろと抹消され」(「社会科教科書の実践的批判」)た事実を知らないばかりか、このような指導要領のもとに教育されようとしているのである。

3 生徒のとらえる天皇像

以上のような指導要領の変遷の中で、権利よりも国に尽す義務を強調する教育は、政治的分野に「公民」の名をつけることで更にその色を濃くしはじめたが、当の生徒は天皇制についてどのような感覚をもつて接しているのだろうか。

ここで、東京のある中学校で調査したアンケート結果を分析してみたい。

この表のを見ると、生徒は天皇制に余り関心を持っていないように見える。アンケートに対しふざける生徒がいたこともあり、たった四四名の調査にすぎないので、正確な分析はできないが、このアンケートの主眼においた、教室以外の環境における天皇の存在については、表のように、家庭で話題にしている者、六名、テレビの皇室アルバムなどを見る者など九名、たまにテレビを見る者と合計すると二九名と案外に多いことがわかる。天皇を尊敬している者は一名いるが、このあたりは真面目に書いたかどうか

< 中学校三年アンケート結果 >

		計		計		計		計
日本の国を	愛している	17	愛していない	14	その他	12	無回答	1
天皇のことを何才のときから知った	小学校前	23	小学校	18	中学校	1	"	2
天皇を尊敬しているか	している	11	していない	24	その他	7	"	1
天皇誕生日の日付	知っている	37	知らない	3			"	4
昔の天皇誕生日の呼び方	知っている	2	知らない	42				
皇室記事を読んだり、放送を見聞することが	よくある	9	たまにある	20	ほとんどない	15		
国の政治を動かしているのは	総理大臣	28	天皇	2	わからない	6	その他	8
今度生れてくるとしたら皇室に生まれたいか	生まれたい	1	生まれたくない	38	その他	4	無回効	1

怪しい部分でもあり、天長節を知っている者が二名（男女各一名）のみで、皇室に生まれたい者一名、となつてゐる所からも、余り天皇存在を意識してはいないことがうかがわれる。

また、政治的な認識については、国を動かしている者は、総理大臣と答えた者が二八名、天皇と答えた者が二名、民衆が動かしているなど、その他の答えをした者が七名であつた。現在はまた生徒のうちに頭在化していない天皇制だが、天皇の神格を払拭しきれない大人たちの間で育つてゐる生徒たちである。天皇に親しむことから選民としての日本中心思考へ、ナショナリズムへと思想が拡大されるのは大いにありうることだ。

この生徒に潜在する危険性はおよそ次の点から想像される。

① 天皇存在に対する免疫がないこと。

② 生命尊重、人間の解放についての教育がなされていないこと。

③ ファシズムへの憧憬があること。

①については、教師が天皇の存在について生徒どうしで論議させるのを避けることもあり、授業においても余り深めないためにもすれば、憲法の中の天皇の条項は暗記するにとどまり、生活の中にあられた、天皇の訪米などについての是否や、国旗、国歌についての論議と別のものとして頭に収められてしまいがちなのである。

②については、受験教育体制の中で、親も生徒も、エゴイズムにこりかたまり、自分のために人を陥れることを「仕方のないこと」とする傾向が強く、これに対して教師の側もなかなか人間ひとりひとりを大切にすることができないでいる。

③については、ひところの根性マンガブームが落ちつき、「愛

と誠」を代表とする劇画時代からナンセンスギャグ時代となつてきている中で、UFO、超能力への恐れと期待に象徴される、「面倒なことは嫌だ。しかし、何か面白いことはないか。」といつた、受身的な、英雄期待の思考である。

しかし、これらの危険性に対して、生徒たちの持つてゐる真実を知る可能性もまた、ますます大きくなつてゐる。

現代の小、中学生にとつて、公害とは本の中のお話や、一片の知識ではない。

天気がよく、体を思う存分動かしたい日中に限つて、光化学スモッグのために、部屋を閉めきらなくてはならないことも多く、学校で倒れる生徒の数も日増しにふえている。

今や共通の問題となつた「公害」に対する生徒の関心は、文化祭の内容や詩、作文の内容を見ても非常に高いことがわかるが、今の生徒は、外界によつて冒されているだけではない。F2 世代という言葉が俗にあるが、食品公害によつて汚染された世代F1の次の世代をF2世代といい、彼らは胎内で汚染されているわけである。このような、生徒自身の保身術、エゴイズムをもつてしても対処できない時代の中で、自分たちの権利を奪うものは何であるかを知る可能性は却つて高くなりつつある。しかも、自分たちを守るには、自身の頭と手足しかないことに気づかないわけにはいかないところまでできているのである。

更に、心ある教師をはじめとして、生徒らを再び侵略戦争の道具にせぬための日々の闘いは各地でとりくまれ、文部省批判、天皇制批判も様々な分野でなされつつある。

アジアの再認識の風潮の中で、日本の歴史、更に昭和史をふり

返るマスコミの風潮は、その中で反動化の危険性が含まれているとはいえ、天皇制の問題を日本中の論議に上らせるよい機会であるともいえるだろう。

こうした中で教師の側が反動化の歯止めとなることはいつそう重要となってくる。

生活の中から、授業の中から天皇制に対し、どう取り組むか。ある教師は教科書に出ている国旗の記述について、何時間もかけて「教科書にも嘘がある」ことを生徒にわからせる試みをしているし、他の教師は卒業式などに「国歌」を歌わせることをやめさせている。

天皇制の影は、あらゆる所にあられ、道徳においても国語の時間においても、教師によつては、帝王の存在を認めさせるような、又、国家の存在を重要視させるような教育効果(?)をねらった

特集 天皇制の解体とは

諸悪の根源たる殺人狂を裁け!

松井不朽

戦後三十年経過憲法は骨抜き

戦後三十年になるが、日本のドコにも主権在民らしい政治はない。殊に最近、稲葉発言でモメたが自民党では憲法を改悪し「天皇の元首化」と「戦争放棄を取消し」即ち再軍備の決意と用意を

教材が使われてもいる。

たとえば、学習研究社版の副読本「小学生の道徳」には、日の丸のさし絵が多く、日の丸と愛国心を結びつけるための「工夫」がなされているし、小学校の国語の教科書には、「幸福の王子」「百びきざるのおかあさん」「あたらしいみつばちのたんじょう」「黒たかをつぐもの」「やまとことば」などの教材をもって、王権・天皇について「理解」させるようになってきているのである。

天皇神格化の教育は、戦前と異なつた形で日々の生活に浸透しはじめている。こうした教育に対する歯止めは教師だけの義務では決まらないのである。

「象徴天皇」という言葉の不可思議さに気づくほどの感受性と労働の現場での闘いなどを含めた自らのためみない解放のための日常の闘いが、今、我々に問われているのである。

公然と指示している。尤も憲法の改悪には国会の三分の二以上の議決と国民投票が必要だから、中々厄介だ、と云つてはいるが、現在やっていることは悉く憲法の空洞化である。その証拠に天皇は既に元首として扱われつつ徐々に既成事実を積み重ねることによつて国民も諸外国も皆々そのように信じ込ませる作戦に集中しているのだ。

税金を乱費の国際親善???

天皇の訪英、エリザベスの訪日、その次はフォードの訪日でのお返しとしての天皇訪米、それも表面上は国際親善のためだと称して国民をギマンしているが、事実上は天皇一家の私事である。例

のエリザベスから天皇家への数々のお土産、その返礼としての献上品の数々、宮中での贅をつくした一食幾万円かの歓迎宴、迎賓館での準備のための修理や装飾、それらに幾百億と云う巨費がかかっている。それはミンナ国費である。私費でないからいくらでも使い放題、而しミンナ国民の税金である。警備に要した費用丈でも莫大なモノイリである。ミンナ国民から搾取した税金である。

権力者に迎合マツク万々歳

処で日本人は権力に弱いオベッカ国民だ。かの敗戦後日本に進駐したマックが日比谷のビルに陣取り日本の主権を握っていたときの政府官僚の醜態振りは如何、マックマックと神サマの如く日参したではないか、このていたらくでは共産党ギライの日本人も、もしソ連、中国の支配下ともなれば必ずや「俺は天皇打倒論者だつた共産主義者だ」と大言壮語する日本人である。

自民党悪政府支持の日本人

さて国民の税金を浪費するインフレ悪政府と悪官僚共の醜態たる自民党政府に申す。現に二十二兆億の予算を組んだが大部分は官僚共の人件費、軍事費である。更に二兆億を赤字公債でまかなう予定のところ、それが昨今の物価上昇で五兆円の公債を増発しなければならぬらしい。それでも財源が足らぬので郵便料金の二・五倍、お酒、タバコの値上から鉄道運賃をアラユル生活物資を今の倍以上に値上する計画、その上、来年からは附加価値税の間接税を設けて貧乏人からも税金として搾る計画、そして一機八十億の戦闘機二百機分と云う準戦態制の自民党政府だ。

国民愚導役のマスコミども

この悪政府に協力し愚民の愚導に大童になっているのが大新聞と称している朝日始め五大新聞社とNHKの御用放送である。彼らは政府に協力すべく盛んに天皇をギマンしているのであるが、最大の敵こそ天皇ゴジのマスコミである。この御用番犬新聞やNHKに愚導されている家畜性が未だ脱皮出来ぬのが日本人である。

家畜日本人のこの醜態振り

ヤレ天皇誕生日だのヤレ参賀だのと称して皇居に押しかけ日の丸の旗を振りつつ天皇陛下万才、を称えたり君が代を唱つて有難がつている日本人ではないか。戦争で原爆までも投下されたのも天皇が降服しなかつたからアメリカは最後のトドメをさしたのだ。投下したアメリカを憎む前に先づその以前に降服しなかつた天皇を責めるのが本筋である。然るにそんな道理の判つた正義心ある日本人はいないのみか、天皇サマから勲章を戴いたと有頂天になつて歓喜している日本人が多い。私が日本人を家畜呼ばわりしているのは当然ではないか、もし私の云うことに共鳴される戦死者の遺家族、在郷軍人、廃兵と称せられて乞食扱いを受けている旧軍人諸君や戦災者よ、団結して皇居に押し寄せ、天皇を捉えて人民裁判にかけることこそ日本を真の平和と福祉ある民主国家に生誕させる最善の良策である。これなくしては日本人は永久に天皇のドレイであり、官僚の家畜として搾取に甘んじなければならぬ。今日王制と云うヤバン制のモト天皇を支持しているのは日本と云うヤバン国ぐらいであるが、それも国民の決意次第で文化国家の

文化日本人として発足し得るのだ。要はドレイアタマを切換え
て人間アタマになることである。

人間に上下も貴賤もない筈

人間アタマとは「人間として生れた以上平等である、上下も貴
賤もない」ナル程、男女の性別はある、人種の区別はあるが、人間
としての差別はないのだ。況んや天皇など天から降ってきた神で
もなければ池から湧いてきた仏でもない、オマンコからヒリ出た
私共同様のバイキンだ。それが明治維新当時の足輕共に押しあげ
られて天皇位について権力者に仕立てられたのである。それをよ
いことにして代々神サマ然としてノサバっているのがヒロヒト一
家である。

真の戦犯こそヒロヒト天皇

ヒロヒトこそ鬼畜であり戦犯の元凶殺人狂である。敗戦後、ヒ
トクチでも国民に向つてアヤマチを犯して申し訳ない、と謝罪し
たことすらないのは戦争を讚美こそすれ、悪いことをしたと後悔
していないからだ。後悔どころか敗けたのが残念だ、ぐらいにし
か思っていない、これが殺人狂でなくてナンであらう。アメリカ
の政策上、戦犯としての処刑こそ免れたが實際上の戦争仕掛人、
張本人であり、宣戦布告したのは彼である。而も免れて恥知らず
の彼は戦前同様、戦災者をヨソに東京のド真中にジャングルの如

ヤバン人三則

一、無茶な喫煙者 △イノチ輕視▽

二、迷惑かけ放題
三、街路に吸殻

△道徳心ゼロ▽
△消えた公德▽

き宏大な皇居と称する私邸を構え、国民から搾取した税金で主権
者ヅラの私生活をしているが、もし義憤に燃える日本人なら日本
を真の民主国家にするためには天皇の戦争責任を徹底的に究明し
たであらう、だが事実は全て正反对だ、これでは世の中は益々ビ
ン乱するのみ。

「ナゴヤ経済界」紙 一九七五年七月一日・第二〇九号
第二〇九号 より転載

松井不朽氏は戦後まもなく天皇制を激しく批判する「金剛石」
紙を通じて不屈の闘いを展開してきている。さきごろ紙名を「人
間改造」と改め、「ナゴヤ経済界」紙とあわせて精力的活動して
いることで知られている。

特集 天皇制の解体とは

何が本質か

奥崎謙三

前略

お手紙拝見しました。「アナキズム」誌七号をざっと拝見して
感じたことを忌憚なくいわせて頂きますと、こんなものにくら

血道をあげていても、永遠に埒があかないと思えました。私はいかなるアナキストよりもはるかに多くアナーキーであると思っております。私は今年の初めから「宇宙人の聖書」と題する本を書くことに文字どおり血道をあげております。それに専念する方が貴誌に投稿することよりも重要であると思えますので、せっかくのお申し越しですが悪しからずお許し下さい。すでに四百枚余りの原稿を書き終り、更に書きつづけております。

無学者の私には「アナキズム」の著者のようにむつかしい言葉を書き做れず、読んでも意味と価値がさっぱりわかりません。どうでもいいようなことをもってまわってことさらむつかしく書いてあるように思われてなりません。それは俳句や短歌等の同人雑誌とおなじ種類の、すべての地球人には永遠に肯定されないところの偏向した権威・価値・正当性・生命が一時的・主観的・部分的・相対的にしか認められないものであると思えます。天皇的なものは有政府主義の象徴・原礎であり、これを観念的のみならず具体的にも否定・抹殺する行動がともなわないアナキストは論語読みの論語知らずで、似而非アナキストであると思えます。本ものアナキストならば私は脱帽しますが、本ものアナキストは本ものの共産主義者と同様にまだ私は知りません。私は本ものアナキスト、本ものの共産主義者になりたいといつも思っております。「宇宙人の聖書」という題の本をつくるのもそのプロセスにほかなりません。

「ムダな抵抗はやめよ」と権力の犬はよくいいますが、全くお説のとおりで私はムダな抵抗は少しもしたくありません。抵抗するかぎりは効果のある抵抗をいたします。「宇宙人の聖書」は無

学者の私の抵抗の文章であります。それは、政府と政府が支配する世界のあらゆる権威、価値、正当性、生命が認められているものを根底から破壊するエネルギーを秘めていると私は自負しております。

天皇の訪米までに完成を急いでおります。できましたら、お呼びのしるしにお送りいたしますから、御笑賀、御判読ください。右とり急ぎ御返事まで。

旬々

本誌編集部より特集テーマによせた執筆を依頼した手紙に対する返事を氏の了解を得て全文掲載

奥崎謙三氏は昭和四十四年正月の皇居参賀で天皇にむかって「ヤマザキ！ 天皇を撃て！」と叫びながらバチンコを撃つた。二年余の刑を受け、下獄後もひとりて天皇制に反対して闘いをつげながら「宇宙人の聖書」と題する本を執筆、さきごろ上梓され、近日刊行の予定である。

奥崎氏の闘いとその思想についてはさきに三一書房二月社より出版された法廷陳述書、『ヤマザキ、天皇を撃て！』に詳しい。

潮流

3月～6月のメモ

活動メモ

機関誌・紙／自主流通誌・紙

新刊書籍

構成 編集部

の話し合いがもたれる (東京)

機関誌・紙／自主流通誌・紙

4月

▽ほのお 5号 (東京、月例交流会) 4月

ノ春の嵐は吹くか!

▽黒旗の下に 5号 (東京都文京区後楽二

一七五 啓衆ビル4F ランチ ヨ気付)

バリーの黒旗 雲内の黒旗軍

▽血乱死 4月号 (東京都練馬区上石神井

一七四〇一四 人間社) 保安処分体制

を粉砕せよ——黒色救援会構築とからめ

て

▽リベルテール 4月号 (東京都練馬区大

泉学園二一九〇 萩原方 リベルテール

の会) いたずら小鬼のゆくえ

▽COMMUNALITY 10号 (栃木県

今市市栄町二〇八三)

▽神戸共同文庫会報 2号 (神戸市葺合区

上筒井通六一二一三 神戸共同文庫)

▽無政府主義研究 4号 (東京都豊島区高

田三一三八一二三 高田ハイツ二〇六号

「無政府主義研究」編集委員会) 特集／

性・共同体の相剋——大杉栄の性理念／

活動メモ

3・10 3・4・9 コミュニオン百人委員会、

弥栄之郷共同体にて春季キャンプ

を開催し、火災事故からの復旧再

建に着手する。

4・6 月例交流会 (東京)

4・20 無政府主義者連盟関東地区準備会、

メーデー共同情宣行動に関する第

三回目の会合を開く (東京)

5・1 リベルテールの会、日本アナキス

トクラブ、黒色戦線社、「無政府

主義運動」刊行会、KGC労働者

解放連合、無政府主義者連盟関西

地方準備会、無政府主義者連盟東

5・3 3・5・5 中之島まつり実行委員会、

『川よ／うたえ／』のテーマのも

とに第四回中之島まつりを開催す

る (大阪)

5・15

5・15実行委員会、インドシナ民

族解放革命戦争勝利ノ他三つのス

ローガンをかけ、5・15全都総

決起集会を実践する (東京)

5・19 東アジア反日武装戦線の八名が、

警視庁により企業爆破事件の犯人

容疑者として逮捕される。

6・11 東アジア反日武装戦線の逮捕者な

らびにアナキストの救援について

共同体の禁忌／高群逸枝におけるアナキズム

▽月刊共同体 一二七号（栃木県今市市栄町二〇八三 日本協同体協会）

▽関西地方準備会ニュース 3号（京都市東山区山科北花山六反田町二六一八 晴栄荘内 奥田気付 無政府主義者連盟関西地方準備会）五／一メーデーへの大胆な介入を！

▽通信 8号（東京都杉並区高円寺北二一〇 東雲閣内 中島気付 無政府主義者連盟関東地区準備会）4月13日現在における「メーデー共同情宣行動」の経過

▽リベロ 28号（京都市左京区田中門前町二八一五 リベロ社）労働の現場から——75年メーデーにあたって／職場の改善をめざして

▽黒樹（東京都小平市学園西町一六一一 一橋寮 永田気付 解放思潮研究会）諸君は今度は『大学』に期待するのにか？

▽FRIニュース 759号（東京都大田区西蒲田七六一八 エリンコビル内 フリー号連帯行動実行委員会）君もFRI号を訪ねてみないか

▽かわら版 4月号（京都市左京区岩倉木野町一三七 京都精華短大内 片桐ユズル）

▽唯我郷たより・何か 1号——自立的アナキズムの基礎

▽サルートン通信 一七八号（大阪市阿倍野区旭町一〇二二 泉原文化内 向井孝）フリー号の人たち——国際平和行進のこと

▽非暴力直接行動 7号（姫路市亀山三五四 戦争抵抗者インターナショナル日本部）フリー来日とフイジ・大平洋核禁会議の意味（※3・31発行）

5月

▽イオム 8号（神戸市葺合区熊内町一五〇三 イオム編集委員会）労働と職業——労働に関する断章4

▽血乱死 5月号（東京 人間社）血乱死 廃刊について

▽FRIニュース 10号（東京 フリー号連帯行動実行委員会）

▽リベルテール 5月号（東京 リベルテールの会）5・1メーデー共同行動の報告

▽あさひまちWRI 3号（大阪市あべの区旭町二一〇二 泉原文化 水田ふう）釜ヶ崎越冬テント村の八日間・中

▽コミュニケーション・ヒロバ 22号（大阪市東成区玉津二 東成玉津郵便局留 コミュニ百人委員会）われらの今を解体し再構築するために——火事の総括として

▽リベロ 29号（京都 リベロ社）職場の改善をめざして・続

▽5・15全都総決起集合基調報告（東京 5・15実行委員会）インドシナ民族解放革命戦争勝利／海洋博粉砕！皇太子訪沖阻止／今秋天皇訪米阻止／帝国主義的教育再編粉砕！大学移転阻止！

▽虚構解体 15号（東京都練馬区上石神井一四九八 福富方 虚構解体編集委員会）「反日武装戦線の敗北」と反弾圧運動

▽かわら版 5月号（京都 片桐）

▽アナキズムと現代 長尾龍一（中央公論5月号）

▽アナキズム 7号（静岡県富士宮市杉田二五一 日本アナキズム研究センター）特集 組織論の変革をめぐる
▽LIBERO 2号（神戸 リベロ）

インターナショナル)

6月

▽関西地方準備会ニュース 455号(京都) 無政府主義者連盟関西地方準備会) 地方準備会を強化し全国連盟結成を勝取るために、さらなる前進を開始せよ! 連盟の任務と大衆運動(一)

▽無政府主義者連盟結成準備会通信 1号 (名古屋市昭和区荒田町四一二六 伊東章好気付 無政府主義者連盟東海地方準備会) 当面する状況と主体的無政府主義者の実践的課題、何が問われているのか、

流動するアジア情勢と我々の視点

▽黒旗の下に 6号(東京) 黒い農民服の革命——インドシナの革命の建設

▽頭脳戦線 一六〇号(秋田市將軍野南一 一〇一二八 草階方 頭脳戦線社) 信仰告白/農機具革命

▽リペーロ 30号(京都 リペーロ社) 反精神医学の立場から/すべての囚人は政治囚である。

▽月刊協同体 一二八号(栃木 日本協同体協会)

▽海燕通信 6号(東京都千代田区内神田

一四一六 海燕書房) 全共闘運動と草莽の志

▽サルトン通信 一八〇号(大阪 向井孝)

▽COMMUNALITY 11号(栃木)

▽黒色通信 152号(伊勢崎市巾和町大島方 黒色戦線社)

▽自由連合紙上のユートピア論争(大阪府住吉区荻田町一〇一三七 山本松男)

新刊書籍

▽労働と遊戯の弁証法

大沢正道著 紀伊国屋書店

▽ブルードン研究

佐藤茂行著 本鐸社

▽菊岡久利復刻三詩集

「貧時交」「時の玩具」「見える天使」

▽アナキズム運動とその理念

長谷川武著

▽ロシア革命の批判

ベルクマン 黒色戦線社

東アジア反日武装戦線
との連帯のために

石川 玄造

救援する会がこの七月二十日通信準備号を出した。東アジア反日武装戦線がわれわれに提起し、現実化した闘いから学ぶべきことは多い。これまでのチンピラ左翼とちがってほんとうに命を張って闘った彼らの突出した内容を自分の思想と行動に即して検討することをわたしはおくればせながらはじめようと思う。

そして読者諸氏にもあえて訴えたい。彼らの具体的な闘いによる呼びかけに対して自分の立場、態度をはっきりさせること。第二には反面教師としてもよいから彼らの闘いから学ぶべきことを学び、具体的な闘いにむけて結実させていくこと。

わたしは二つのことを確実に教訓化できた。ひとつは「大地の牙」は二人でやったということだ。たつたふたりでもこれだけのことができるのだ! もうひとつは組織が相互独立的に、感染的に拡大されていったことだ。最も象徴的なのは七月十九日の道警爆破攻撃だ。わたしは真実、感服した。とりあえずメモとして——

(一九七五・七・二八)